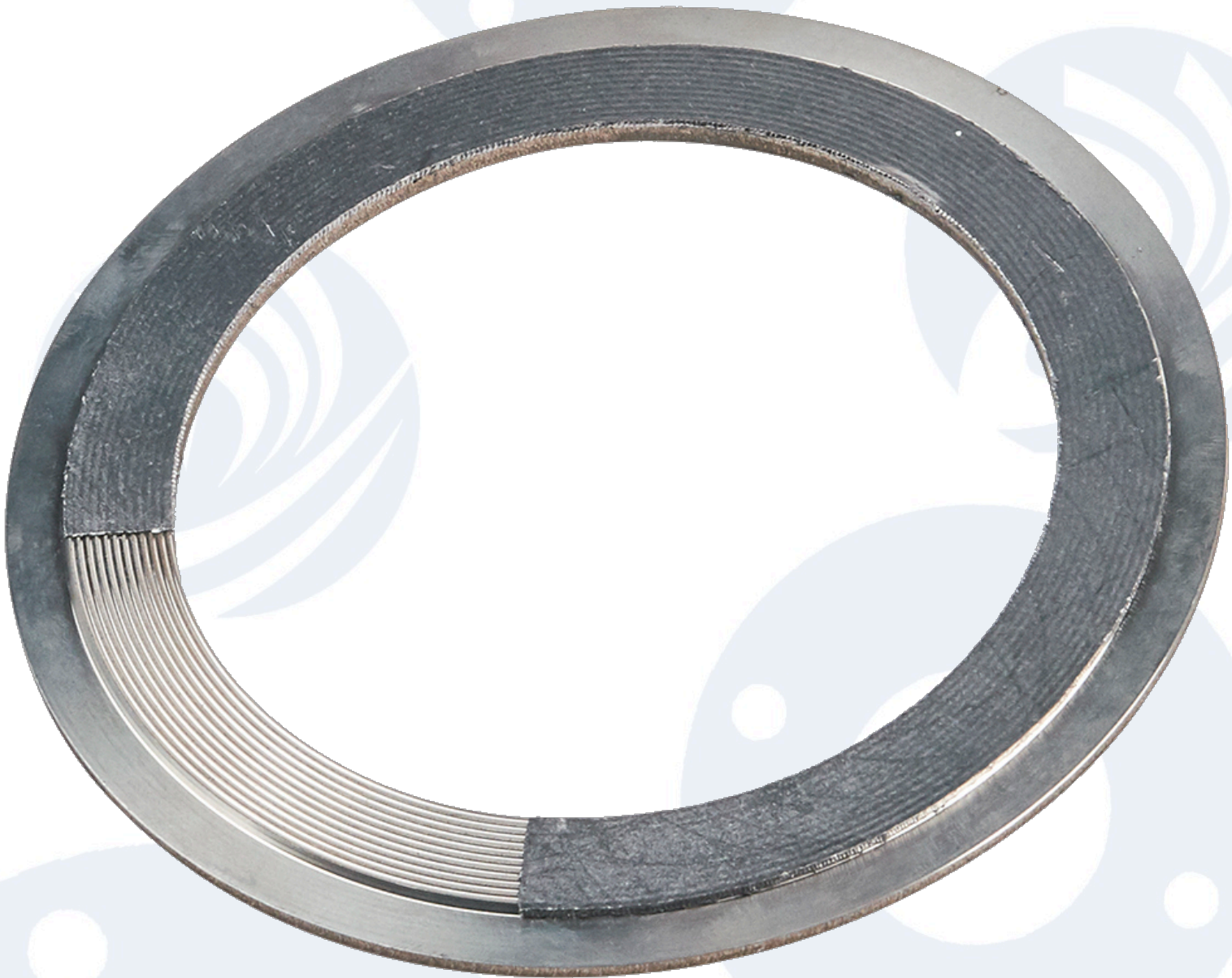




カンプロファイル ガスケット

簡単な製造、優れたシール性能、低ボルト
応力要件を備えたガスケット



(セミ)メタルガスケット

Rev.2209-XY-K

カンプロファイルガスケット

製品概要

50年以上前にドイツで開発されて以来、カンプロファイルガスケットは優れたシール性能のために世界中で広く使用されています。次の利点があります。

- ・ 真空から 2500LBSの圧力までのシステムで使用可能
- ・ 優れた圧縮性と弾力性
- ・ 破損したフランジ面でもシールを確保できます

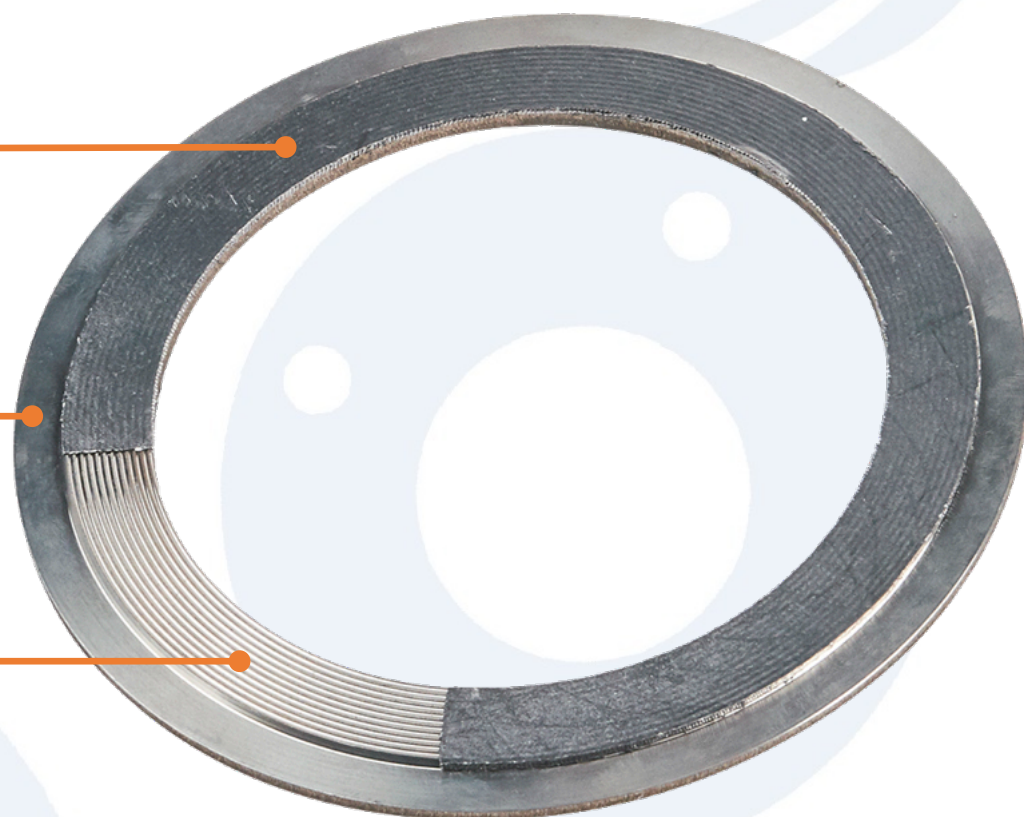
カンプロファイルガスケットは歯付き金属芯を骨格とし、表裏両面に軟質シール材を貼り付けたものです。鋸歯状のデザインは、シール面に応力集中を引き起こすことでシール性能を高め、シール材の横方向の動きも最小限に抑えます。頑丈な金属芯がガスケットの剛性と防爆性を提供します。



表層材 ←

- ・ 固定外輪 ←
- ・ 可動外輪 ←

歯付き金属
本体 ←



(セミ)メタルガスケット

Rev.2209-XY-K

カンプロファイルガスケット

製品材質

金属本体材質

炭素鋼	SS316Ti	Inconel 825
SS304	SS321	Hastelloy C276
SS304L	Inconel 600	Monel 400
SS316L	Inconel 625	S31803
SS410	Inconel 800	Titanium Gr2

表層材	温度	室温でのフランジ応力	
		最小	最大
ノンアス	250°C	17Mpa	270Mpa
膨張黒鉛	450°C	17Mpa	270Mpa
PTFE	260°C	17Mpa	270Mpa
金雲母	1000°C	17Mpa	270Mpa

注：

- 上記表以外の特殊材料もご用意できますので、弊社技術員にご相談ください。
- 選択した材料は、動作温度と化学薬品に適合する必要があります。

(セミ)メタルガスケット

Rev.2209-XY-K

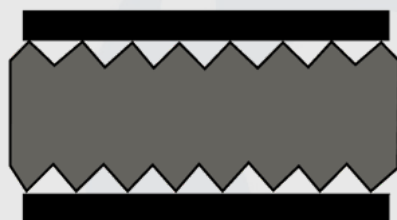
カンプロファイルガスケット

製品種類

フランジ面によると、カンプロファイルガスケットは3つのタイプに分類されます。

基本形

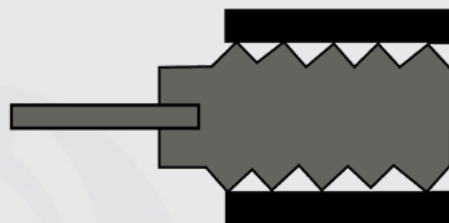
XY-K-K



このタイプのカンプロファイルガスケットは、狭いシール面に使用され、はめ込み形と溝形フランジに適している。

可動外輪付

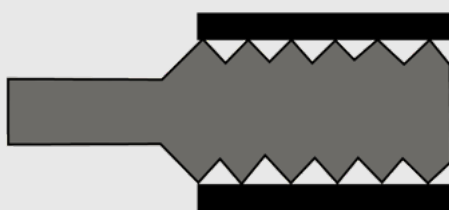
XY-K-H



このタイプのカンプロファイルガスケットは、基本タイプをベースに、可動外輪が取り付けられています。可動外輪はガスケットの中心への取り付けを保証し、一方では熱サイクル中にガスケットが膨張および収縮することを可能にします。平面座と全平面座フランジに適している。

固定外輪付

XY-K-G



このタイプのカンプロファイルガスケットは、ワンピースの外輪設計を採用しており、外輪により、ガスケットを正しい位置に取り付けることができます。平面座と全平面座フランジに適している。

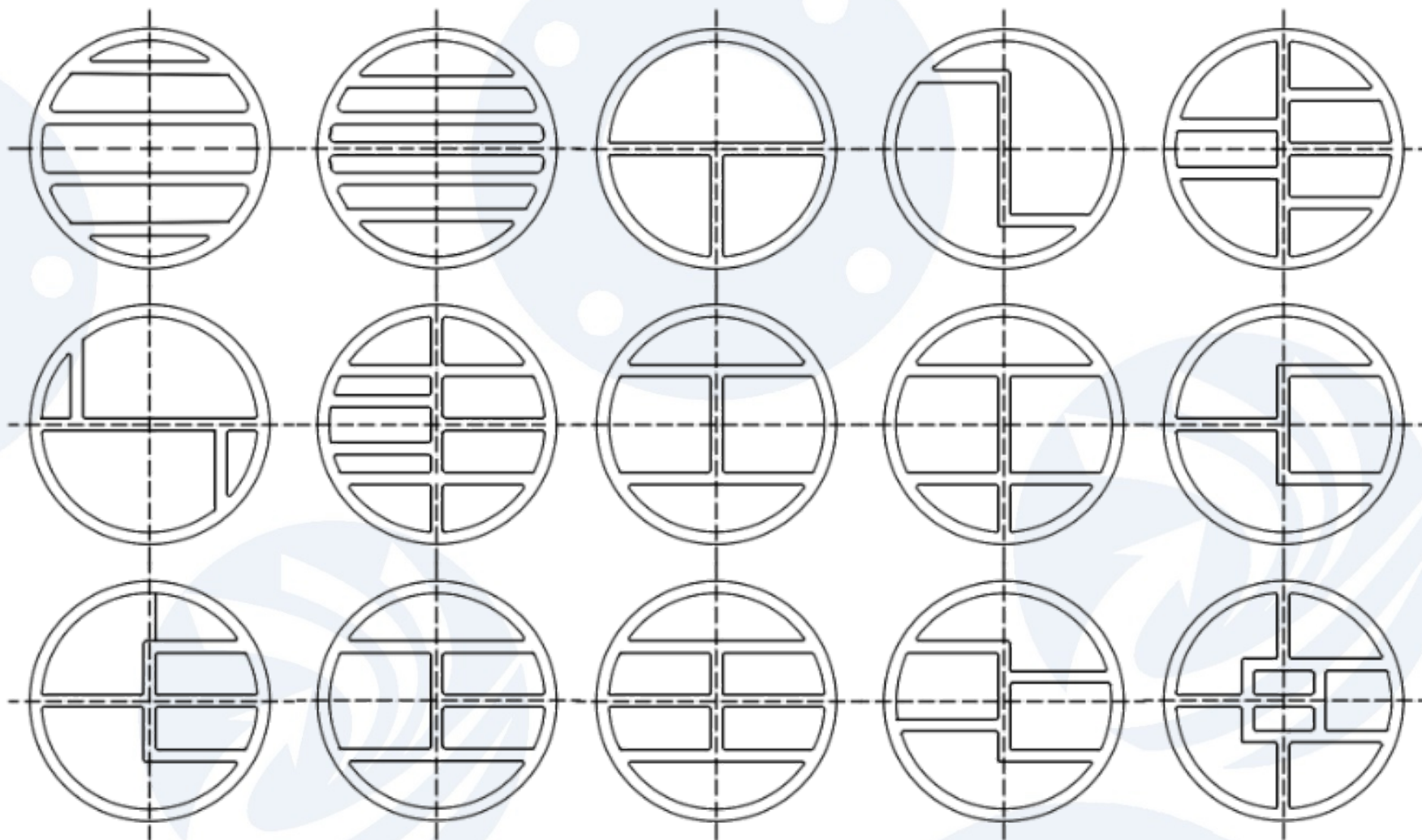
(セミ)メタルガスケット

Rev.2209-XY-K

カンプロファイルガスケット

製品形状

熱交換器のさまざまなシール面に応じて、さまざまな形状の熱交換器ガスケットをお客様に提供できます。



注：生産は上記リブタイプに限定されません。図面通りに製作可能です。

(セミ)メタルガスケット

Rev.2209-XY-K

カンプロファイルガスケット

製品仕様

厚みについて

期待されるシール性能を実現するために、標準的な歯付き金属本体厚さは3mmです。

特別な用途では、厚さを4mm以上にすることをお勧めします。

標準的な表層材の厚みは0.5mmや0.75mmです。

M値とY値について

ステンレス鋼金属本体と膨張黒鉛表層材の時

M=4 Y=1000psi

標準について

左側の表には一般的なカンプロファイルガスケットの標準があり、また非標準のガスケットは図面、サイズによっても生産可能です。

標準

HG20611	HG20632
ASME B16.20	DIN2691
EN1514-2	BS10
JIS B2404	

在庫状況



(セミ)メタルガスケット

Rev.2209-XY-S

カンプロファイルガスケット インストール

ガスケットにより優れたシール性能とより長い使用寿命を与えるためには、ガスケットのタイプと材質を正確に選択するだけでなく、ガスケットを正しく取り付け、維持する必要があります。

次は、エンドユーザーがガスケットを取り付けるのに役立つガイドです。



ガスケット	<ul style="list-style-type: none">● 新しいガスケットの使用● ガスケットの表面が完全で、サイズが対応するフランジに合っているかどうかをチェックする● ガスケットとフランジに接着剤、グリース、または潤滑剤を塗布しない
フランジ	<ul style="list-style-type: none">● 古いガスケットを取り外し、フランジ表面に打痕と傷がないかどうかを確認し、径方向の傷が漏れの原因になる可能性がある● カンプロファイルガスケットについては、フランジ表面仕上げ度が$3.2\mu\text{m}$から$6.4\mu\text{m}$● フランジ面が平行であるかどうかをチェックする
ボルト	<ul style="list-style-type: none">● ボルト、ナットをクリーニングし、その表面にグリースを塗布する● ボルトとナットを取り付ける時、フランジの背面が平らであることを確保する● 可能であれば、ボルト荷重を均衡させるために金属平面ガスケットを使用することをお勧めします
インストール	<ul style="list-style-type: none">● ガスケットが中央に取り付けられていることを確認する● トルクレンチの使用を推奨● ボルトを対角線で締め付ける。①指で締める ②最終荷重の30%まで締める ③最終荷重の60%まで締める ④満載まで締める ⑤最後に規定トルクまで順番に締める